

平成 2 4 年度第 2 回津市入札等監視委員会の会議結果報告

会議名 平成 2 4 年度第 2 回津市入札等監視委員会
開催日時 平成 2 4 年 8 月 7 日（火）
午後 2 時から午後 3 時 1 5 分まで
開催場所 津市役所本庁舎 4 階庁議室
出席した者の氏名
月岡 存 委員長（三重大学名誉教授）
伊藤 庄吉 委員（行政書士）
滝澤 多佳子 委員（税理士）
西川 源誌 委員（弁護士）
土方 良明 委員（公認会計士）
事務局 葛西副市長、総務部長、総務部次長
調達契約課長ほか 2 人
説明員 営繕課長ほか 3 人
内容 1 入札・契約に関する報告について
(1) 入札及び契約手続の運用状況
(2) 指名停止措置等の運用状況
2 入札等監視業務について
入札・契約抽出事案の審議
公開又は非公開
公開
傍聴者の数 0 人
担当 総務部調達契約課工事契約担当
電話番号 0 5 9 - 2 2 9 - 3 1 2 2

・議事の内容 下記のとおり

1 入札・契約に関する報告について

(1) 入札及び契約手続の運用状況

Q 特になし

(2) 指名停止措置等の運用状況

Q 工事成績不良による指名停止はよくある事なのですか？

A 事例としては少ないです。本件は、工事は完了に至りましたが、資料の作成に一部不備があったことにより、工事成績不良となったものです。

Q 同じ建設業法違反行為で 2 件の指名停止がありますが、指名停止期間が異なるのは細則などの基準があるのでしょうか？

A 三重県の指名停止措置を参考に運用しており、7 日までの営業停止処分の場合を 4 か月、指示処分だけの場合を 1 か月としております。

- Q 工事成績が何点の場合に工事のやり直しをさせるのか？
 A 点数が付かない場合、つまり検査に合格しなければやり直しとなります。
 点数は65点を基準としてそこに加点や減点がなされます。
 Q 津市の指名停止基準の中で「過失による粗雑工事」と「工事成績不良」
 の規定がありますが、その区別はどうなっていますか？
 A 前者は受注者の過失により工事に瑕疵が認められた場合で、後者は完成
 に至ったものの、何らかの問題が認められた場合です。

2 入札等監視業務について

入札・契約抽出事案の審議

(1) 平成24年度営教総補第3号

津市立神戸小学校大規模改造（第一期）工事

<条件付一般競争入札（工事）>

- Q 最高価格入札者が制度上の問題によって落札しており、実質的に競争が
 行われたといえないのでは？最低制限価格に20万円足りずに失格した
 者のほうが最低制限価格に近いので、そちらと契約すれば良いのでは？
 A 予定価格は本市が契約する際の最高限度額であり、最低制限価格は品質
 確保のために最低限必要とする価格です。その範囲内での契約ですので有
 効に成立していると考えておりますが、課題であると考えております。
 Q 失格者もAランクの優れた業者であり、その入札金額で施工できるから
 こそ応札しているのであり、現行の最低制限価格制度に対する検討が必要
 では？
 Q 現行制度において、失格者の最高額と落札金額の間に大きな差があるの
 は仕方が無いかもしれないが、例えば両者の差が大きい場合に落札金額を
 減額するなど、特に金額が大きい案件については何か工夫ができません
 か？
 A 主な制度としては2つほど考えられます。まず変動型最低制限価格制度
 ですが、入札額によってある程度最低制限価格が増減するもので、市場価
 格を反映させることができる一方、本来発注者が決定すべき最低制限価格
 が入札額によって決定される事に加え、談合による価格操作がより容易と
 なります。
 もう1つは低入札価格調査制度で、最低制限価格では無く低入札調査基
 準価格と更にそれ以下の失格基準価格を設定するもので、失格基準価格を
 下回った場合は失格となりますが、調査基準価格以下で失格基準価格以上
 の場合は、適切な施工が可能か業者に履行体制等について聴取を行った上
 で落札決定をするものです。ただし、発注者・受注者共に事務量及び経費
 が増加し、契約締結までの期間も長期化します。また、失格と判断する基
 準が困難であるため審査体制の強化が必要となります。
 それぞれの制度には一長一短がありますので、例えば一定の金額以上の
 案件については何らかの手法を取り入れるなど検討したいと思います。
 Q 議会承認の際にはどのような説明や質問があったのか？

A 議案は工事名、契約金額、契約相手方等の基本的な事項で、その資料として入札結果、位置図と配置図です。特に入札結果に関する質問はありませんでした。

* 本件については、一部今後に検討いただくものの、それ以外は概ね適正に処理されているものと認める。

(2) 平成24年度環新補第1 - 2号

津市新最終処分場等施設整備実施設計業務委託

<事後審査型条件付一般競争入札(委託)>

Q 先程と同じような案件ですが、落札率100%というのは過去に覚えがありません。真面目に積算した業者が失格し、予定価格で入札した業者が落札しており、最低制限価格制度の問題点が凝縮しているように思えます。

A あくまで推測ですが、同一の価格での入札者が3者あり、津市の制度に不慣れな事が原因であったのではないかとおもわれますが、先程と同様に現在の制度における課題であると考えております。

Q 経営に影響するような低価格で入札はしないはずなので、最低制限価格が高すぎるのでは？

A 最低制限価格については、技術部門の情報も参考として厳密かつ適正に決定しています。

Q 予定価格と同額での入札を認めない制度を設ける事はできませんか？

Q 例えば、何百万円台とか約何百万円といったように予定価格に幅を持たせれば推測しにくくなるのでは？

A 予定価格を上回る金額での入札にはペナルティを科していますが、予定価格は、本市が契約する際の最高限度額であるため、予定価格と同額の入札を行うことについては問題ありません。

また、過去には予定価格を非公表としておりましたが、職員への働きかけも懸念されるところであり、事前公表としているところです。

このようなことから予定価格に幅を設けて公表した場合、非公表の場合と同様の懸念が考えられます。

Q 本件は実施設計ですが、基本設計は行われましたか？また、その入札と本件とで参加した業者に重複はありますか？

A 昨年度実施しており、参加者はおおよそ同じです。また、基本設計を落札したのは本件2番札の業者です。

* 本件については、一部今後に検討いただくものの、それ以外は概ね適正に処理されているものと認める。

(3) 平成23年度南河災補第26号

普通河川白俣川及び市道白俣線災害復旧工事

< 参加意思確認型指名競争入札（工事） >

Q 辞退が多いように思いますが、何か理由はありますか？また、本件は緊急復旧工事ですか？

A 推測になりますが、技術者の配置ができないとか、工事内容に魅力が無かった等の理由が想定されます。また、災害復旧工事ではありますが、緊急復旧工事ではありません。

Q 工事概要の谷止工とはどのような工事ですか？また、その大きさは？

A 上流からの土砂等をせき止めるため流路に横断的に設ける小型のダム状の工作物です。また、大きさは5 m × 2 . 2 m程度です。

* 本件については、適正に処理されているものと認める。

(4) 平成24年度ス振第2 - 1号

津市民プール温水プール棟天井緊急修繕

< 随意契約 >

Q 随意契約理由の1つとして最も近接しているとの事ですが、例えば半径500m ~ 1 km以内に同じような業者は何社ありますか？特殊技能等がある場合の随意契約と比べると業者選定理由として不明瞭な気がしますが。

A 片田地区に1社あるので合計2社です。

Q 元々本業者がプール棟を施工したとか、大規模修繕を受注したとか、継続的に維持管理を受託しているとか、特別の理由は存在しないのですか？

A 平成21年にも天井材が落下した事があり、その際にも本業者に修繕を依頼しております。

Q その時は競争入札だったのですか？

A 緊急の随意契約でした。正月休み中の施工を求めているようです。

Q 本業者を選定した理由が弱いのではないのでしょうか？

A ごみ処理施設のように相手方が特定される随意契約もございますが、本件のような第5号随意契約（緊急随意契約）になりますと、随意契約の理由としては、緊急性の理由と業者選定の理由が必要であり、緊急性については、判断基準も比較的明瞭ですが、業者選定理由については、早期着工のために現場近傍に所在していること、あるいは資材を所有している事など、総合的な理由による事となります。

Q 設計価格の積算まではどれくらいの日数がかかりますか？

A 施工方法の検討のため足場を組んで全面調査をすると2か月程かかります。本件は老朽化した施設という事もあり、根本的な修繕では無く落下防止ネット施工の検討を行っており、もし施工方法が決定していれば3 ~ 4日ですが本件は7 ~ 10日かかっております。

Q 後々の本格的な修繕は検討していますか？

A 以前に修繕した部分は大丈夫だと判断しておりますので、今後これ以上の落下は無いと考えております。また、落下防止ネットにより、今後の安

全性を確保しています。

* 本件については、適正に処理されているものと認める。

条件付一般競争入札

No.2

件 名	平成24年度営教総補第3号 津市立神戸小学校大規模改造(第一期)工事
落 札 者	(株)山幸建設
業 種 (格 付)	建築一式 A
施 工 場 所	津市神戸地内
工 期	契約締結日(平成24年6月27日)から250日間(平成25年3月3日)
工 事 概 要	大規模改造工事 一式 特別教室・管理棟 2,130m ² 普通教室南棟 1,663m ²
入 札 方 法	条件付一般競争入札
入 札 日 時	平成24年5月11日 午前10時30分
入 札 参 加 資 格 要 件	地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4の規定に該当しない者 津市建設工事等条件付一般競争入札実施要領(平成18年1月1日施行。以下「要領」という。)第4条第1項に掲げる要件を備えている者 要領第4条第2項各号の一に該当しない者 本市の区域内に本店を有する者 建設業法(昭和24年法律第100号)第3条に規定する特定建設業の許可(建築工事業)を受けている者 津市競争入札参加資格者名簿において建築一式工事を希望業種として登載されていること 建築一式工事に係る格付区分がAの者 本件工事に建築一式工事の監理技術者を専任で配置できる者(入札参加申請時において他の工事等との重複をしていないこと)

予 定 価 格	383,844,000 円
落 札 価 格	368,770,000 円
最低制限価格	335,101,000 円
落 札 率	すべて税抜き 96.07 %

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

順位	入 札 者	入札金額	備考
1	杉谷建設(株)	333,845,000	失格(最低制限価格未滿)
2	草深林業(株)	334,012,000	失格(最低制限価格未滿)
3	(株)ジェイエイ津安芸	334,330,000	失格(最低制限価格未滿)
4	東海土建(株)	334,456,000	失格(最低制限価格未滿)
5	日本土建(株)	334,477,000	失格(最低制限価格未滿)
6	(株)アイケーディ	334,518,000	失格(最低制限価格未滿)
7	安濃建設(株)	334,558,000	失格(最低制限価格未滿)
8	三重農林建設(株)	334,633,000	失格(最低制限価格未滿)
9	(株)宇戸平工務店	334,888,000	失格(最低制限価格未滿)
10	(株)山幸建設	368,770,000	落札決定
11	カネナカ建設(株)	無効	技術者を専任で配置できないため

事後審査型条件付一般競争入札

No.1

公 告 日	平成24年6月4日		業 務 担 当 課		新最終処分場建設推進課		
業 務 名	平成24年度環新補第1 - 2号 津市新最終処分場等施設整備実施設計業務委託						
業 務 場 所	津市 美杉町下之川			地内			
業 務 概 要	最終処分場実施設計 一式 発注仕様書等作成 一式 各種申請資料等作成 一式 費用対効果分析 一式 道路詳細設計 0.54km 一般構造物詳細設計 一式						
期 間	契約締結の日から 平成25年1月31日 まで						
発 注 業 種	土木関係コンサルタント						
参 加 資 格 に 関 する 事 項	登録要件	業種	土木関係コンサルタント		部門	廃棄物	
		建設コンサルタント登録規程（昭和52年建設省告示第717号）第2条第1項の規定による登録を受けていること					
	所在地要件	市内本店又は市内支店等					
	当該部門 における 営業収入 金額要件	営業収入金額を有すること					
	同種業務 実績要件	過去10年間の官公庁等元請実績で以下のとおり 一般廃棄物最終処分場の基本設計又は実施設計業務					
	技術者要件	管理技術者	同業種(同部門)に係る技術士(本市発注業務における専任配置)				
		照査技術者	同業種（同部門）に係る技術士、技術管理者又はRCCMのいずれかの者				
その他要件	土木関係コンサルタント(道路)において名簿に登録され、営業収入金額を有すること						
設 計 図 書 の 閲 覧	閲 覧 期 間	本公告の日から		平成24年6月22日		まで	
	閲 覧 場 所	調達契約課・津北工事事務所・津南工事事務所					
設 計 図 書 の 購 入	購 入 期 間	本公告の日から		平成24年6月22日		まで	
	販 売 店	アサヒ感光社 津市半田141 059-226-5214					
設 計 図 書 等 に 関 する 質 問	提 出 期 限	平成24年6月12日		午後5時 まで			
	回 答 日	平成24年6月19日		ホームページにて回答			
	提 出 先	調達契約課工事契約担当（津市役所本庁舎7階） F A X 059 - 229 - 3333					
入 札 方 法 等	入 札 方 法	郵便入札（一般書留・簡易書留に限る）					
	提 出 期 限	平成24年6月22日		必着			
	郵 送 先	〒514-8799 郵便事業（株）津支店 留 津市役所 調達契約課 宛					
開 札 日 時 及 び 場 所	平成24年6月27日 午前9時50分 津市役所（本庁舎）7階 入札室						
予 定 価 格	68,583,000 円 （税抜き）						
最低制限価格	有						
入札保証金	免 除						
契約保証金	契約金額の100分の10以上						
前 金 払	有						
部 分 払	無						
その他	・本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。 本市発注業務とは調達契約課又は水道局発注業務で、担当課執行分を除く。						

予 定 価 格	68,583,000	円
落 札 価 格	68,583,000	円
最低制限価格	54,558,000	円
	すべて税抜き	
落 札 率	100.00	%

下記入札金額に１．０５を乗じた金額が申込価格です。 (単位:円)

順位	入 札 者	入札金額	備考
1	(株)オオバ三重営業所	54,170,000	失格(最低制限価格未満)
2	(株)日建技術コンサルタント三重事務所	54,178,000	失格(最低制限価格未満)
3	国際航業(株)三重営業所	54,180,000	失格(最低制限価格未満)
4	(株)中央設計技術研究所三重事務所	54,180,000	失格(最低制限価格未満)
5	中日本建設コンサルタント(株)三重事務所	54,180,000	失格(最低制限価格未満)
6	パシフィックコンサルタンツ(株)三重事務所	54,288,000	失格(最低制限価格未満)
7	八千代エンジニアリング(株)三重事務所	68,583,000	落札決定

参加意思確認型指名競争入札

No.1

件 名	平成23年度南河災補第26号 普通河川白俣川及び市道白俣線災害復旧工事
落 札 者	(株)藤谷建設
業 種	土木一式
工 事 場 所	津市美杉町丹生俣 地内
工 期	平成24年9月25日 まで
工 事 概 要	コンクリートブロック工 746m2 谷止工 一式
入 札 方 法	参加意思確認型指名競争入札
予 定 価 格	39,251,000 円 (税抜き)
開 札 日 時	平成24年4月17日 午後4時10分
資 格 要 件	建設業法に基づく建設業の許可(業種:土木一式)を有している者 経営事項審査を受け経営に関する客観的事項の完成工事高を有する者 同業種の技術者を有する者(2級土木施工管理技士(土木)又はそれと同等以上の者) 同業種の希望業種欄に登録されている者 市内に本店を有する者 久居ブロックで美杉、久居、一志、白山地区の土木一式に係る格付区分がB、A2、A1の者

予 定 価 格 39,251,000 円
落 札 価 格 33,090,000 円
最低制限価格 33,087,000 円

すべて税抜き

落 札 率 84.30 %

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

順位	入 札 者	入札金額	備考
1	(株)西川組	32,941,000	失格(最低制限価格未満)
2	(株)藤谷建設	33,090,000	落札決定
3	(有)大村建設	33,150,000	
4	(株)藤久建設	33,150,000	
5	(有)小林組	33,176,000	
6	(株)前田組	33,186,000	
7	(株)林組	33,191,000	
8	(有)丸三建設	33,200,000	
9	(有)永井組	33,202,000	
10	(有)枝川建設	33,214,000	
11	勢和建設(株)	33,378,000	
12	(株)藤田組	38,000,000	
13	田辺設備(株)	無効	領収書等なし
14	(株)広山建設	辞退	
15	(株)磯田土建	辞退	
16	本州舗装(株)	辞退	
17	(有)中川組	辞退	
18	(株)山本建設	辞退	
19	竹原建設(株)	辞退	
20	(株)タカミ	辞退	
21	(有)岡山工業	辞退	
22	(株)マエダ組	指名通知書未受領	

随意契約

No.1

件名	平成24年度ス振第2 - 1号 津市民プール温水プール棟天井緊急修繕
見積者	(株)ジェイエイ津安芸
業種	とび・土工・コンクリート
施工場所	津市殿村 地内
工期	平成24年7月20日
工事概要	天井材落下防止修繕 一式
契約方法	随意契約
見積日時	平成24年6月22日 午後4時30分
随意契約理由	当該修繕は、天井内部に埋設されている鋼材が経年劣化により腐食が進み、表面の建材部分を侵食した結果、天井の一部について剥離・落下が発生したことから落下防止のためのネットを設置するものです。 当該修繕についてはその施工の確実、安全性はもとより、夏季にかけて利用者の増加も見込まれ、直ちに機能を復旧しなければ施設の運転に支障をきたし、利用者に著しい不利益が生じること、収益の悪化が見込まれること、また競争期間の確保等や費用対効果の検討も十分に行った結果、一刻も早い現場への着手が求められることから、当該施設に最も近接し、必要な資材等の迅速な調達が可能で、当該修繕と類似する修繕及び当該施設での修繕の履行実績を有する株式会社ジェイエイ津安芸と地方自治法施行令第167条の2第1項第5号随意契約を行うものです。

予定価格 6,053,000 円

落札価格 5,780,000 円

最低制限価格 - 円

すべて税抜き

比率 95.49 %

下記見積金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。 (単位:円)

者数	見積者	第1回	第2回	第3回	備考
1	(株)ジェイエイ津安芸	5,780,000			決定